

葛城市 はじめるネット

2023年 8月
(令和5年)

通算第23号



江南市立図書館
(toko+toko=labo内)

富山県
南砺市

南砺市役所



愛知県
江南市



いま私が委員長を務める総務建設常任委員会では、7月に視察研修を行い、江南市と南砺市とを訪問しました。今年4月にオープンした図書館や子育て支援センターなどが入居する複合施設「toko+toko=labo」を視察したあと、デジタル化推進の先進自治体である南砺市役所で研修しました。

●葛城市議会議員

はじめ

吉村 始

忘れてはいけない歴史

8月15日、1945(昭和20)年から78年目の終戦の日を迎えます。10月には恒例の「葛城市戦没者追悼式」が営まれる予定です。また、葛城市民主催の「戦争体験を聞く会」(後援：葛城市・市教育委員会)も今年で12回目だそうです。戦争の惨禍を再び繰り返さないために地道な活動を続けておられる市民の皆さんに敬意を表します。

いま「戦争の危機」が喧伝されるなか、中央大学准教授の宇田川幸大さんは、著書で「『悲惨な戦争体験』に依拠した平和主義は(戦争体験者が減っていくなかで)大きな岐路に直面している」と指摘しておられます(『私たちと戦後責任—日本の歴史認識を問う』岩波ブックレット)。

日本国憲法の「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の三つの柱を護っていくためにも、

近代日本が経験した戦争の悲惨さから学び、忘れてはいけない歴史として、後世に語り継いでいくことが大切です。

さて、関東大震災*から百年目の今だからこそ、忘れてはいけない歴史を。わが国の報告書**にも、震災時、差別意識から来るデマを信じた者などが何の罪もない朝鮮半島出身者などを多数虐殺した事実が書かれています。このような加害の歴史にも目を背けず、学んでいくべきと考えます。

* 1923年9月1日に発生

** 中央防災会議(事務局は内閣府)
「災害教訓の継承に関する専門調査会報告書(1923関東大震災第2編)」



3月議会 (3月9日) 一般質問

動画はこちら▶



※6月の一般質問
「市立小学校の校区」
「警報時の登校判断」
は次号に掲載します



緊急時通報カードの導入を

急病人や事故に遭った方を助けるため救急車を呼ぶとき、「患者の持病は？ 服用中の薬は？」などと聞かれる場合があります。とっさのことで、家族ならわかる情報が他人だとわかりません。

そんな話を市民の方から聞き、行政主導の「緊急時通報カード（仮称）」を提案しました。これを患者が持っていれば、必要な情報を消防職員に伝えられます。カードは、高齢者、聴覚障害者、外国人などすべての人が使える奈良県広域消防組合参加37自治体で統一された様式とします。

葛城市から、ぜひ奈良県や県広域消防組合参加の自治体などに導入の働きかけを、と伝えました。阿古市長も「緊急時のツールとして、とても優れた考え方だ。研究したい」と応じました。実現に向けて、市職員とともにがんばってまいります。

まちづくりビジョンは？

市長が水道事業の単独経営を選択しました。水道経営を維持していくためにも水道利用の増加を図る企業誘致の必要性や道路整備の進捗状況など、市のまちづくりビジョンについて質しました。



活動ピックアップ (2023年前半)

市人権教育推進協議会と社会福祉協議会などで行っているフードドライブ事業がテレビ取材を受け、私も人権協の副会長としてコメントしました。1月20日放送の奈良テレビ「いきいきまちだより」で紹介されました。



市民から強い要望のあった就学援助の認定基準の拡充について、私も21年12月議会の一般質問で取り上げ、翌22年度から改善されました。その経緯が「生活と健康を守る新聞」5月28日付記事で紹介されました。



私事ですが、趣味で母校立命館の創立者を再評価する活動をしています。先日、立命館史資料センターを訪問して学園史資料を見学した記事が、同センター公式Facebookの7月6日付記事で紹介されました。



★本紙は、家族とともに手配りでお届けしています。ご希望の方には、郵送も行っています。

街頭での配布予定日 尺土駅南側（第1、第3水曜日）、近鉄新庄駅（第2火曜日）、磐城駅（第2水曜日）、忍海駅（第4水曜日）。
（毎月）（6:30～7:45）予定どおり立つようにしていますが、天候や祝日、仕事などの理由で別の日に振り替えるときがあります。



バックナンバーはこちら▶

<https://www.hajimerunet.com>



発行 吉村はじめと始める会

〒639-2101 奈良県葛城市疋田379 電話&FAX 0745-69-7590